

第31回仙台市福祉有償運送運営協議会 議事録

日 時 令和8年8月7日（金） 14：00～14：45
場 所 EARTH BLUE 仙台勾当台8階 第2会議室
出席者 【出席委員】
泊 尚志 会長（オンライン）、及川 孝 委員、高平 賢 委員、齋藤 哲也 委員、
渡邊 純一 委員、関澤 京子 委員、里見 教子委員、渡邊 礼子委員
【申請団体】
社会福祉法人 つどいの家 高橋 和也氏
【事務局】
健康福祉局地域福祉部社会課
高橋課長、鈴木主幹兼管理係長、堀内

次 第

- 1 開会 会長あいさつ
- 2 議事録署名人の指名
- 3 協議
 - ・福祉有償運送更新登録申請について
 - 社会福祉法人 つどいの家
- 4 報告事項
- 5 その他
- 6 閉会

議事録

1 開会

事務局より協議会成立の報告。続けて、事務局より挨拶。

2 議事録署名人の指名

泊会長が高平委員を指名。委員了承。

3 協議

- ・ 更新登録申請について（社会福祉法人 つどいの家）

○申請団体

申請団体の社会福祉法人 つどいの家より挨拶。

○事務局

資料1の概要を説明。その後、協議事項(1)必要性の判断、(2)運送の区域、(3)旅客から収受する対価、(4)運送を必要とする旅客の範囲、(5)その他必要と認められる措置について、資料2、資料3、資料4及び資料5に基づき一括して説明。

○泊会長

事務局の説明に対してご意見、ご質問はあるか。

○及川委員

資料2の福祉タクシー車両については38台で正しいのか。非常に少ない印象を受ける。

○関澤委員

記載の台数は、東北運輸局宮城運輸支局として各タクシー会社に照会をかけた結果（※）であり、台数自体に誤りはない。

※「法人タクシー事業者で尚且つ、福祉輸送事業限定の許可区分を持っている事業者」が「福祉限定の事業のために用いる車両（主に車椅子移動車や寝台対応車など）」が計上されている。

○及川委員

ここにはカウントされていないものの、実際に福祉車両に準じた機能を持っている車両を各会社が導入している。我々タクシー業界も福祉に力を入れているということをご理解いただきたい。次回の協議会では福祉車両の台数の記載については、これらも含めるよう検討いただければ幸いである。

○事務局

運輸局様とも相談させていただきながら数字の出し方について検討したい。

○及川委員

キャンセル料金450円の根拠をご教示いただきたい。

○申請団体

調べたうえ、後日回答させていただく。

○渡邊委員

資料2の(1)必要性の判断に記載の福祉タクシー券の利用状況について。福祉タクシー券は1件当たりいくら配布しているのか。

○事務局

3万円である。

○渡邊委員

支給件数1万件に対して、支給実績が1億9,000万円程度であることから、単純計算にはなるが、約6割程度しか使用されていないことになる。残高は次年度に繰り越しになるのか。

○事務局

繰り越しはされず不用額となる。

○渡邊委員

支給額を減らして別の事業に予算をつけたほうがいいのではないか。

○高平委員

実質1億円近くが不用となっているのであれば、移動制約がある方、例えば免許返納した方々などに対してうまく予算を使うなどの方法もあるように感じる。

○泊会長

予算編成時の見通しと実績との間に乖離がある理由について、説明可能な範囲でご教示いただきたい。

○事務局

多くの場合、基本的には過去の使用実績も参考にしながら、不足が出ないよう、十分な金額を確保していると思われるが、詳細については所管課に確認させていただく。また、先ほどお話があった不用額について、他の事業等に活用できないという点についても、所管課に課題として伝達できればと思う(※)。

○泊会長

先ほど高平委員が仰ったように免許返納者に対する助成などは私も賛成なので、ぜひ所管が異なっても検討していただければ幸いである。

○及川委員

利用者は知的障害者３名ということであるが、どのような利用方法かご教示いただきたい。

○申請団体

自宅から短期入所の施設に送り届ける形が多い。

○及川委員

今後は福祉有償運送業務を増やしていくつもりなどはあるのか。

○申請団体

我々のメイン業務は、短期入所事業、日中一時支援事業、ホームヘルプサービスの３事業である。福祉有償運送事業あくまでもそれらに付随する業務であると考えていることから、積極的に拡大させていこうとは考えていない。

○及川委員

福祉有償運送の事業者も昨年新規登録のあった To Rights も含めると３社しかないのが現状。規模が次第に縮小していつているものの、引き続き適切な管理体制で望んでもらいたい。

○泊会長

その他、何かご質問、ご意見はあるか。

○各委員

質問、意見なし。

○泊会長

後ほど調べていただくということも含まれていたものの、「社会福祉法人 つどいの家」の更新登録申請について、仙台市福祉有償運送運営協議会での協議が調ったこととしてよろしいか。

○各委員

了承。

４ 報告事項

○泊会長

つづいて、次第４報告事項について。前回の協議会でのご報告以降、軽微な事故等は発生していない。各委員・事務局から報告事項があればお願いしたい。

○事務局

特になし。

5 その他

なし。

6 閉会

○泊会長

本日の協議会はこれで終了といたします。ここで事務局に進行をお戻しいたします。

○事務局

委員の皆様、ご審議ありがとうございました。最後になりますが、次回第 32 回協議会は来年 1 月頃、仙台市障害者福祉協会の更新にかかる開催を予定しております。改めて日程調整のうえご案内を差し上げます。それでは、以上をもちまして、第 31 回仙台市福祉有償運送運営協議会を終了いたします。本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございました。

※事務局確認事項

福祉タクシー券については、過去の執行実績より、例年 2 億円弱で積算をしており、執行実績についても例年 2 億円弱で推移しているところ。所管課は毎月の利用実績を見ながら、年度中に不足が見込まれる場合には、補正予算、流用といった対応をすることとなる。

別添資料の表記上、申請件数（約 1 万件）×単価（3 万円）では 3 億円弱となることから、多額の不用額が発生しているように見えるものの、上述の要因により概ね予算は適正に執行できている。